



CASBEE横浜2017年版v.1.1  
横浜みなとみらい国際コンベンションセンター

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.1

スコアシート	実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
0	建築物の環境品質					-		-	3.9
Q1	室内環境					0.40			3.6
1	音環境				4.6	0.15	-	-	4.6
1.1	騒音				5.0	0.67	-	-	-
1.2	遮音				-	-	-	-	-
1.2.1	開口部遮音性能				-	-	-	-	-
1.2.2	界壁遮音性能				-	-	-	-	-
1.2.3	界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	-	-	-
1.2.4	界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	-	-	-
1.3	吸音				4.0	0.33	-	-	-
2	温熱環境				3.6	0.35	-	-	3.6
2.1	室温制御				4.2	0.50	-	-	-
2.1.1	室温	快適・働きやすさ	温熱環境		4.0	0.38	-	-	-
2.1.2	外皮性能	快適・働きやすさ 健康・安心	温熱環境 外皮性能		5.0	0.25	-	-	-
2.1.3	ゾーン別制御性	快適・働きやすさ	温熱環境		4.0	0.38	-	-	-
2.2	湿度制御	快適・働きやすさ	温熱環境		3.0	0.20	-	-	-
2.3	空調方式	快適・働きやすさ	温熱環境		3.0	0.30	-	-	-
3	光・視環境				3.0	0.25	-	-	3.0
3.1	昼光利用				-	-	-	-	-
3.1.1	昼光率	快適・働きやすさ	光環境		-	-	-	-	-
3.1.2	方位別開口	快適・働きやすさ	光環境		-	-	-	-	-
3.1.3	昼光利用設備	快適・働きやすさ	光環境		-	-	-	-	-
3.2	グレア対策				-	-	-	-	-
3.2.1	昼光制御	快適・働きやすさ	光環境		-	-	-	-	-
3.3	照度	快適・働きやすさ	光環境		-	-	-	-	-
3.4	照明制御	快適・働きやすさ	光環境		3.0	1.00	-	-	-
4	空気質環境				3.9	0.25	-	-	3.9
4.1	発生源対策				4.0	0.50	-	-	-
4.1.1	化学汚染物質	快適・働きやすさ	空気質環境		4.0	1.00	-	-	-
4.2	換気				3.0	0.30	-	-	-
4.2.1	換気量	快適・働きやすさ	空気質環境		3.0	0.50	-	-	-
4.2.2	自然換気性能	快適・働きやすさ	空気質環境		-	-	-	-	-
4.2.3	取り入れ外気への配慮	快適・働きやすさ	空気質環境		3.0	0.50	-	-	-
4.3	運用管理				5.0	0.20	-	-	-
4.3.1	CO <sub>2</sub> の監視	快適・働きやすさ	空気質環境		5.0	0.50	-	-	-
4.3.2	喫煙の制御	快適・働きやすさ	空気質環境		5.0	0.50	-	-	-
Q2	サービス性能				-	0.30	-	-	4.1
1	機能性				4.0	0.40	-	-	4.0
1.1	機能性・使いやすさ				3.0	0.40	-	-	-
1.1.1	広さ・収納性	快適・働きやすさ	機能性		-	-	-	-	-
1.1.2	高度情報通信設備対応	快適・働きやすさ	機能性		-	-	-	-	-
1.1.3	バリアフリー計画	快適・働きやすさ	機能性		3.0	1.00	-	-	-
1.2	心理性・快適性				5.0	0.30	-	-	-
1.2.1	広さ感・景観	快適・働きやすさ	機能性		-	-	-	-	-
1.2.2	リフレッシュスペース	快適・働きやすさ	機能性		-	-	-	-	-
1.2.3	内装計画	快適・働きやすさ	機能性		5.0	1.00	-	-	-
1.3	維持管理				4.5	0.30	-	-	-
1.3.1	維持管理に配慮した設計	快適・働きやすさ	機能性		5.0	0.50	-	-	-
1.3.2	維持管理用機能の確保	快適・働きやすさ	機能性		4.0	0.50	-	-	-
2	耐用性・信頼性				4.2	0.30	-	-	4.2
2.1	耐震・免震				4.6	0.50	-	-	-
2.1.1	耐震性	防災	耐震・免震		5.0	0.80	-	-	-
2.1.2	免震・制振性能	防災	耐震・免震		3.0	0.20	-	-	-
2.2	部品・部材の耐用年数				3.4	0.30	-	-	-
2.2.1	躯体材料の耐用年数	防災	部品・部材の耐用年数向上		3.0	0.20	-	-	-
2.2.2	外壁仕上げ材の補修必要間隔	防災	部品・部材の耐用年数向上		2.0	0.20	-	-	-
2.2.3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	防災	部品・部材の耐用年数向上		5.0	0.10	-	-	-
2.2.4	空調換気ダクトの更新必要間隔	防災	部品・部材の耐用年数向上		5.0	0.10	-	-	-
2.2.5	空調・給排水配管の更新必要間隔	防災	部品・部材の耐用年数向上		4.0	0.20	-	-	-
2.2.6	主要設備機器の更新必要間隔	防災	部品・部材の耐用年数向上		3.0	0.20	-	-	-
2.4	信頼性				4.6	0.20	-	-	-
2.4.1	空調・換気設備	防災	信頼性		5.0	0.20	-	-	-
2.4.2	給排水・衛生設備	防災	信頼性		5.0	0.20	-	-	-
2.4.3	電気設備	防災	信頼性		5.0	0.20	-	-	-
2.4.4	機械・配管支持方法	防災	信頼性		4.0	0.20	-	-	-
2.4.5	通信・情報設備	防災	信頼性		4.0	0.20	-	-	-
3	対応性・更新性				4.1	0.30	-	-	4.1
3.1	空間のゆとり				4.0	0.30	-	-	-
3.1.1	階高のゆとり				-	-	-	-	-
3.1.2	空間の形状・自由さ				4.0	1.00	-	-	-
3.2	荷重のゆとり				5.0	0.30	-	-	-
3.3	設備の更新性				3.6	0.40	-	-	-
3.3.1	空調配管の更新性				3.0	0.20	-	-	-
3.3.2	給排水管の更新性				5.0	0.20	-	-	-
3.3.3	電気配線の更新性				3.0	0.10	-	-	-
3.3.4	通信配線の更新性				3.0	0.10	-	-	-
3.3.5	設備機器の更新性				3.0	0.20	-	-	-

# CASBEE 横浜 | 評価結果 | 29-022



CASBEE横浜2017年版v.1.1  
横浜みなとみらい国際コンベンションセンター

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.1

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
	6	バックアップスペースの確保		4.0	0.20	-	-			-
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>				-	<b>0.30</b>	-	-			<b>4.1</b>
1 生物環境の保全と創出		地域・まちづくり	生物環境の保全と創出	3.0	0.30	-	-			3.0
2 まちなみ・景観への配慮		地域・まちづくり	まちなみ・景観への配慮	5.0	0.40	-	-			5.0
3 地域性・アメニティへの配慮				4.0	0.30	-	-			4.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		地域・まちづくり	地域性への配慮	5.0	0.50	-	-			-
3.2 敷地内温熱環境の向上		快適・働きやすさ	敷地内温熱環境の向上	3.0	0.50	-	-			-
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>				-	-	-	-			<b>4.1</b>
<b>LR1 エネルギー</b>				-	<b>0.40</b>	-	-			<b>4.7</b>
1 建物外皮の熱負荷抑制		省エネルギー性能	建物の熱負荷抑制	4.5	0.20	-	-			4.5
2 自然エネルギー利用		省エネルギー性能	自然エネルギー利用	3.0	0.10	-	-			3.0
3 設備システムの高効率化		省エネルギー性能	設備システムの高効率化	5.0	0.50	-	-			5.0
4 効率的運用				5.0	0.20	-	-			5.0
集合住宅以外の評価				5.0	1.00	-	-			-
4.1 モニタリング		省エネルギー性能	効率的運用	5.0	0.50	-	-			-
4.2 運用管理体制		省エネルギー性能	効率的運用	5.0	0.50	-	-			-
集合住宅の評価				-	-	-	-			-
4.1 モニタリング		省エネルギー性能	効率的運用	3.0	-	-	-			-
4.2 運用管理体制		省エネルギー性能	効率的運用	-	-	-	-			-
<b>LR2 資源・マテリアル</b>				-	<b>0.30</b>	-	-			<b>4.0</b>
1 水資源保護				4.2	0.20	-	-			4.2
1.1 節水				4.0	0.40	-	-			-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				4.4	0.60	-	-			-
1		雨水利用システム導入の有無		5.0	0.70	-	-			-
2		雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-			-
2 非再生性資源の使用量削減				4.0	0.60	-	-			4.0
2.1 材料使用量の削減				5.0	0.10	-	-			-
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.20	-	-			-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20	-	-			-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				5.0	0.20	-	-			-
2.5 持続可能な森林から産出された木材				3.0	0.10	-	-			-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				5.0	0.20	-	-			-
3 汚染物質含有材料の使用回避				4.0	0.20	-	-			4.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用				5.0	0.30	-	-			-
3.2 フロン・ハロンの回避				3.6	0.70	-	-			-
1		消火剤		4.0	0.33	-	-			-
2		発泡剤(断熱材等)		4.0	0.33	-	-			-
3		冷媒		3.0	0.33	-	-			-
<b>LR3 敷地外環境</b>				-	<b>0.30</b>	-	-			<b>3.5</b>
1 地球温暖化への配慮				4.0	0.33	-	-			4.0
2 地域環境への配慮				3.2	0.33	-	-			3.2
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-			-
2.2 温熱環境悪化の改善				3.0	0.50	-	-			-
2.3 地域インフラへの負荷抑制				4.0	0.25	-	-			-
1		雨水排水負荷低減		4.0	0.25	-	-			-
2		汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-			-
3		交通負荷抑制		5.0	0.25	-	-			-
4		廃棄物処理負荷抑制		4.0	0.25	-	-			-
3 周辺環境への配慮				3.2	0.33	-	-			3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-			-
1		騒音		3.0	1.00	-	-			-
2		振動		-	-	-	-			-
3		悪臭		-	-	-	-			-
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制				3.0	0.40	-	-			-
1		風害の抑制		3.0	0.70	-	-			-
2		砂塵の抑制		-	-	-	-			-
3		日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-			-
3.3 光害の抑制				4.4	0.20	-	-			-
1		屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		5.0	0.70	-	-			-
2		昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-			-
<b>上記以外の重点項目</b>				-	-	-	-			-
<b>&lt;事務用途&gt;</b>				-	-	-	-			-
知的生産性向上への取組		快適・働きやすさ	知的生産性向上への取組	-	-	-	-			-
<b>&lt;住宅用途&gt;</b>				-	-	-	-			-
<b>健康と安心</b>				-	-	-	-			-
1 化学汚染物質の対策		健康・安心	健康対策	-	-	-	-			-
2 適切な換気計画		健康・安心	健康対策	-	-	-	-			-
3 結露・カビ対策		健康・安心	健康対策	-	-	-	-			-
4 犯罪に備える(共用部の防犯対策)		健康・安心	防犯対策	-	-	-	-			-